

# 12月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1  
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

<p>天皇陛下の御誕生日を祝う</p> <p style="text-align: right;">天長祭</p>	<p>12月23日(土) 午前10:00</p> <p>本宮・別宮</p> <p style="text-align: right;">祭典・神事</p>
---	---

天皇陛下の御誕生日を寿ぎ、宮司以下祭員が聖寿の万歳と国家の繁栄とを祈願するお祭りを執り行います。



<p>御社殿の御煤納め</p> <p style="text-align: right;">御煤納神事(おすすおさめしんじ)</p>	<p>12月25日(月) 午前10:00</p> <p>本宮・別宮・摂末社</p> <p style="text-align: right;">祭典・神事</p>
--	---

大神様に新しい年を清らかな御社殿で迎えて頂くため、御煤納めの神事を執り行います。神職が4m程の忌竹(いみたけ)を持ち、本宮・別宮をはじめ40余社の御煤納め(煤払い)を行います。年末の風物詩として欠かせない神事です。



<p>罪や穢を祓いに祓って</p> <p style="text-align: right;">大祓</p>	<p>12月31日(日) 午後3:00</p> <p>本宮拝殿前</p> <p style="text-align: right;">祭典・神事</p>
--	--

崇敬者多数も参列し、日常生活の中で知らず知らずの間に犯した過ちや、身にふりかかった穢を祓い去る儀式を執り行います。清々しく新年を迎えるための大切な神事です。

○この儀式は、人間本来の清く正しく明るく心を取り戻し、充実した生活を営んでゆくため、古来から毎年6月末と12月末に行われています。



<p>来年の干支破魔矢を調製</p> <p style="text-align: right;">干支破魔矢集中調製</p>	<p>12月6日(水) 午前9:30～午後3:00</p> <p>文化殿講堂</p> <p style="text-align: right;">行事</p>
--	---

職員及び当神宮敬神婦人会会員等(約100名)の奉仕により、破魔矢に来年の干支絵馬等を付ける、干支破魔矢の調製を行います。

○来年の干支は戌(いぬ)です。



<p>農林畜産物三千余点を奉納・展示</p> <p style="text-align: right;">第67回農林畜産物品評会</p>	<p>12月15日(金)</p> <p>文化殿内外</p> <p style="text-align: right;">行事</p>
---	--

農業感謝祭にちなみ、熱田神宮豊年講と愛知県農業協同組合中央会の主催で、農林畜産物品評会が開催されます。県内農家より出品の作物三千余点は、50余名の審査員によって評定され、農林水産大臣賞・宮司賞をはじめ知事賞・市長賞等約20の賞が約400名に与えられます。また、県下農業振興に寄与された農業功労者顕彰の表彰も行われます。

○農業感謝祭は今年の収穫を神様に感謝するお祭りです。毎年12月第三金曜日に執り行われます。なお、出品物は品評会終了後に市内各福祉施設へ寄贈、又午後2時より第二鳥居付近にて先着500名に無料配布します。



<p>大楠の大注連縄張り替え</p>	<p>12月25日(月) 午後12:30</p> <p>大楠広場</p> <p style="text-align: right;">行事</p>
--------------------	---

熱田神宮豊年講名古屋支部講員の奉仕により、弘法大師のお手植と伝えられる「大楠」の大注連縄が張り替えられます。講員は早朝より当神宮文化殿講堂でワラを打ち、長さ10m・太さ直径10cm・重さ30kgの大注連縄を丹精込めて作製、拝殿にてお祓を受け参拝の後、大楠の大注連縄を張り替えます。

○熱田神宮豊年講名古屋支部の奉仕は昭和40年より毎年行われています。



## 大鏡餅の奉納

12月30日(土)

午前10:00

本宮

行事

熱田神宮豊年講講員により恒例の大鏡餅の奉納が行われます。

当日、白い法被に鉢巻姿の講員により担がれた鏡餅は、文化殿前を出発し、第二鳥居を経て約200m先の拝殿にお供えされます。



○この行事は昭和21年正月から毎年行われています。今年は豊年講あいち中央支部から5俵どり(直径約1.5m)、豊年講海部支部、豊年講知多南部支部、豊年講あいち豊田支部、豊年講名古屋支部からそれぞれ1俵どりの鏡餅が奉納されます。

## 熱田神宮宝物展

コーナー展示「屏風と絵巻物」

12月1日(金)～12月24日(日)

宝物館

宝物展示

古来、広い邸宅の空間を仕切るため、障子や襖の他、自由な形に変形できる屏風が重宝されました。この屏風の扇面には四季折々の風景や吉祥の図柄が描かれ、見る者の心を和ませます。12月のコーナー展は、当神宮が収蔵する様々な意匠があらわされた屏風や、信貴山縁起絵巻や伴大納言絵巻など著名な絵巻物の模写等、約50点を展示致します。



○入館料 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)  
( )内は20名以上の団体料金  
・入館は午後4時10分まで(12/25～12/31は休館致します)